

2023年度

MIRA行事 PickUp!

コロナの蔓延が一応落ち着き、私たちの生活も徐々に以前の日常に戻り始めています。MIRAでも、コロナの影響で中止となっていた行事が、少しずつ再開されつつあります。本号ではこの1年に行ってきた行事をピックアップしてご紹介します。

第6回 中国語スピーチコンテスト開催

2023(令和5)年12月3日



細溝直子さん
による二胡演奏



特別スピーチの
杉森洋月さん

2023(令和5)年12月3日(日)、第6回友好都市親善中国語スピーチコンテストが、三島市民生涯学習センターで開催されました。6回目を迎えた今回は、暗誦部門9名、スピーチ部門13名の参加者で日ごろの成果を競い合いました。皆さん、素晴らしい暗誦、スピーチを披露。優劣つけがたい内容でしたが、審査員の先生方の協議の結果、下記の方々が入賞しました。審査結果は、最優秀者に麗水市長賞、各部門の1位、2位、3位は点数順で、審査員特別賞は実質4位です。また奨励賞は、発音やスピーチの内容と中国語を使って日本の生活や文化などを奥深く伝えたことが評価さ

れました。審査員から、暗誦部門では「中国語は四声があるのでゆっくりはっきり発音し、感情をこめて中身を伝えてほしい」、スピーチ部門では「それぞれの話の内容と表現力に感動しました」とのコメントをいただきました。

全員の発表終了後には、特別参加で、中国語を勉強中の小学4年生の杉森洋月さんが「私はCAになりたい」と題してスピーチを行いました。また、細溝直子さんによる二胡の演奏も行われ、コンテストという緊張感が解けて、二胡の柔らかな音色が会場いっぱいになりました。

審査結果

麗水市長賞

勝根 梓

「中国語を勉強する理由」



麗水市長賞の
勝根梓さん



審査員左から
李璧如さん
盧思さん
張万英さん

暗誦部門 課題文：磨杵成針

- 1位 吉長 花梨 (三島南高校3年)
- 2位 齋藤 日和 (三島南高校3年)
- 3位 風間 和 (三島南高校3年)
- 審査員特別賞 土屋 琴里 (不二聖心女子学院高校1年)
- 審査員奨励賞 高橋 未乃 (三島南高校3年)

スピーチ部門

- 1位 山田 愛弓 「言語を学ぶことは文化を学ぶことです」
- 2位 二宮 沙那 「私が中国語を勉強している理由」
- 3位 法福 昭彦 「ジョギングを通じて四季を楽しむ」
- 審査員特別賞 牧 陽菜 「昼寝」
- 審査員奨励賞 倉内 太貴 「剣道」

帰ってきた！フрендシップ・プログラム 2023

コロナ禍で中断していた三島と姉妹都市パサディナの青少年交流プログラム「フрендシップ」が、2019年に三島市の学生が訪問して以来4年ぶりに再開されました。7月28日から8月2日にかけてパサディナの学生9名が来島。

日本の文化を体験したり、市内外の観光をしながら交流を行いました。この事業は1年ごとに研修生を派遣しあう形で2002年に始まり、今回で18回目となります。2024年は、三島から中高大学生を派遣する予定です。



姉妹都市親善 英語スピーチコンテスト

60回目の開催



10月15日(日)、姉妹都市親善英語スピーチコンテストが、三島市民生涯学習センターにて開催されました。中学生の部に10人、高校生・大学生・一般の部に8人が参加し、日頃の学習の成果を発揮して素晴らしいスピーチを披露しました。今年で第60回という節目を迎えましたが、第1回はまだ協会は設立されておらず、三島市の主催で1964(昭和39)年10月4日に開催されました。



夏期語学講座開催

例年人気の夏期語学講座が、7月から8月までの全12回にわたり、三島市民生涯学習センター研修室で開かれました。今年は韓国語と中国語の2か国語の講座でした。



韓国語・申昌鉉先生(左から3人目)



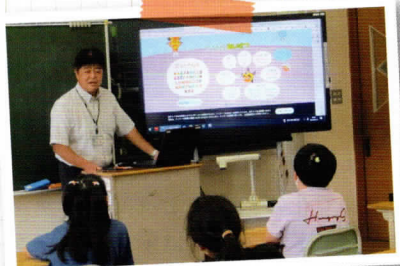
中国語・李寧先生(左から4人目)

受講生の皆さん

国際理解教育・出前講座開催

佐野小

北中



国際交流協会では、国際理解教育の一環として、毎年、市内の小中学校にて出前講座を行っています。今年度は、7月11日(火)に佐野小学校の4年生を対象に、北京(中国)出身の李寧さんとブラジル出身の伊佐勝弘さんが、10月12日(木)には北中学校において、ローマ(イタリア)出身のバレリオ・ルチッティさんと台北(台湾)出身の李璧如さんが講師となって、それぞれ母国のことを紹介しました。



市立小中学校に図書を寄贈

～今年で19回目～

毎年恒例となっている図書の寄贈のため、平出利之会長ほか役員が、4月25日三島市教育委員会を訪れ、今年度より新任の小塚英幸教育長に市立小中学校21校分の本を手渡しました。



コミュニティカフェ安久 世界を知ろう!開催

2024年2月17日、安久公民館においてコミュニティカフェが開催され、今回は、多文化共生・国際理解の場として、中国・北京出身の李寧さんにお話を伺いました。出身地の北京の近代化の様子、万里の長城などの世界遺産について、また、三島市の友好都市である浙江省麗水市の自然や文化、少数民族について、さらには三島市と麗水市の間の中高生や教師の相互派遣、スポーツ交流や文化交流などの紹介がありました。講演後には、“みしま二胡楽坊”の皆さんによる二胡の演奏も披露され、二胡独特の味わいのある音色に、皆、聴き入っていました。



麗水市公式訪問団来島

2023年7月4日～5日、呉舜澤麗水市人民政府市長を団長に、麗水市人民政府代表団7人が来島しました。公式訪問団の来島は11年ぶりです。7月4日の三島市長表敬訪問では、今まで培ってきた教育や文化スポーツでの交流を更に深化させるとともに、産業や観光の分野での交流にも力を入れていくことを相互に確認しました。翌5日には、これからも末永く友好が深まることを願って、楽寿園でみしま桜の記念植樹を行いました。





第30回

国際交流フェア

2023年5月21日(日) 商工会議所TMOホール

コロナ禍で中止されていた国際交流フェアが4年ぶりに開催され、ステージでは世界のパフォーマンスが披露されました。「ハワイアンダンス」では観客が飛び入り参加で花のレイをかけてダンサーと共にダンスを楽しみ、「ベトナム伝統ダンス」では華やかな衣装に身を包んで伝統的なダンスを披露、民族衣装のファッションショーも行われました。「二胡」の演奏ではピアノ&ボーカル、サックス&フルートとのセッションが行われ、会場が一つになり、おおいに盛り上がりました。各ブースでは三島市在住の原アンナさん（ウクライナ出身）の作品販売、順天堂大学保健看護学部学生が制作した『痛みのオフロマトベ言語対比表』、国際交流協会の活動を紹介したコーナー、カワセミバッジの販売、景品盛りだくさんのくじ引きコーナー、世界の料理コーナーではブラジル、コロンビア、フランス、など国際色豊かな料理に舌鼓をうち、珍しい世界のお菓子の販売コーナー、冷たい飲み物の販売など『世界の楽しい！』が会場いっぱいにあふれていました。

第4回

オータムフェア開催

2023年11月5日(日) in 楽寿園

第4回MIRAオータムフェアが、11月5日楽寿園にて開催されました。この時期は菊まつりが開催されていることもあって、世界各国の料理屋台、物品販売ブースなどは大勢の人で賑わいました。屋台は、ブラジル、インド、イラン、イタリア、ドイツ、デンマーク、コロンビア、インドネシア、ベトナム、アメリカなどで、世界の味と香りにつられて、つい食べ過ぎの方も多かったようです。物品販売も、西アフリカ、フィリピン、マレーシア、初参加のトルコ、ウクライナなど、異国情緒豊かで、まさに『世界が三島にやってきた』ようでした。また、順天堂大学のやさしい日本語部のブースでは、外国人の方にわかりやすい「やさしい日本語」をクイズや展示で学ぶことができました。ステージでは、フォルクローレ、ハワイアン、エスニカン(アフリカ)、インド舞踊、ベトナムダンス、ポールダンスなどが披露され、拍手や手拍子など会場は大いに盛り上がりしました。



日本語の教え方講座 開催

国際交流協会の開催する講座の中でも特に人気のある「日本語の教え方講座」が、9月1日に開講。11月24日までの全12回に10人の方が受講しました。この講座は、在住外国人の方に、日本で生活する上で必要な基礎的な日本語を教えるボランティアを養成するための入門講座です。



新春交流パーティー開催

2024年1月28日(日)



コロナ禍の行動制限が解除され、久しぶりの新春交流パーティーが三島商工会議所『さんしんみゆうくんホール (TMOホール)』にて開催されました。会場は各国外国人、日本人、大人から子供まで大勢の参加者でいっぱいになりました。今年は『オリエンタルグルーヴ』の田北さん、森さんが、ジャンベ、ドゥンドゥン、ハンドパン等の色々な国の太鼓の演奏で会場を盛り上げてくれました。アフリカの太鼓の体験教室も開かれました。参加した皆さんは普段体験出来ない太鼓に触れて笑顔で演奏していました。『オリエンタルグルーヴ』の演奏で飛び入り大歓迎のダンスや、「椅子取りゲーム」も行われ、勝者には景品をプレゼント。食べ放題、飲み放題のフード&ドリンクコーナーにはセネガル、ブラジル、日本の料理と飲み物が用意されて皆、舌鼓をうっていました。ハートもお腹もいっぱいになった『新春交流パーティー』となりました。



フラワーアレンジメント講座

10月29日、三島市民生涯学習センターにおいてフラワーアレンジメント講座が行われました。花を活ける前に日本の文化に触れてもらおうと、おかめとひょっとこの福笑いが用意されました。それぞれ個性的な顔が出来上がり、大盛り上がりとなりました。アレンジメントの花はヒペリカム、リンドウ、スプレーバラ、ドライアンド・ラフォルモーサ、花器にはカボチャ、秋の香りあふれるアレンジメントが出来上がりました。



中国・麗水市の中学校とリモート交流

～ 山田中・中郷中 ～



三島市と友好都市提携を結んでいる中国浙江省・麗水市の中学校との交流は、従来の相互訪問がコロナ禍の影響でできなくなったため、2021(令和3)年に、山田中学校と麗水市の景寧中学校との間で、オンラインによるリモート交流がスタートしました。今年度も11月15日に山田中と景寧中、11月29日に中郷中と天寧中との間でリモートでの交流が行われ、相互理解を深めました。三島市側からは、市の紹介や学校生活の紹介、箏曲の演奏や合唱を、麗水市側からは琵琶の演奏や民族舞踊などが披露され、質問コーナーでは、好きなアニメのことやお互いの印象などをやりとりし、笑顔で交流を行いました。



ボッチャ 在住外国人のための交流会開催

2024年1月14日(日)、三島市民生涯学習センターで、在住外国人を対象としたボッチャ交流会が開催されました。このイベントは、三島市が、在住している外国人同士がスポーツを通して親睦を深めることにより、日常の生活でも交流の輪が広がるようにと企画したものです。今回初めての試みでしたが、中国、ブラジル、インド、ペルー、フィリピン、フランスの6カ国のファミリー、8家族



ゲームの様子。“真剣”そのものです。

19人が参加しました。参加者は、日本パラスポーツ協会公認指導員の猪浦玲子さんから、やさしい日本語によるボールの投げ方やルールの説明を受けた後、早速ゲーム形式でボッチャを楽しみました。最初のうちは、的となる白球の近くにうまく投球できなかった人も、慣れてくるとピタッと近づけることができるようになり、そのたびに歓声が上がっていました。ボッチャを皆で仲良く楽しんだ後は、センター内の児童センター、図書館の見学ツアーを行い、利用方法を学びました。



参加した在住外国人の皆さんと指導員の猪浦さん(後列中央)

19人が参加しました。参加者は、日本パラスポーツ協会公認指導員の猪浦玲子さんから、やさしい日本語によるボールの投げ方やルールの説明を受けた後、早速ゲーム形式でボッチャを楽しみました。最初のうちは、的となる白球の近くにうまく投球できなかった人も、慣れてくるとピタッと近づけることができるようになり、そのたびに歓声が上がっていました。ボッチャを皆で仲良く楽しんだ後は、センター内の児童センター、図書館の見学ツアーを行い、利用方法を学びました。

祝入学

外国にルーツをもつ家族のための

『日本の小学校に入る準備』説明会開催

三島市では、2024年4月に新1年生となる子どものいる外国人家族等を対象に、小学校に入るための準備についての説明会を、三島市民生涯学習センターで開催しました。学校生活のルールや、入学までに準備しなければいけないものなどは、国によって異なりますから、保護者の皆さんは、何をどういう風に準備したらよいのかなどとても不安です。そこで今回は、小学校の先生としてもベテランで経験豊かな教育委員会の職員により、日本の小学校に入

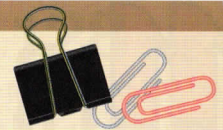
る準備についての説明が行われました。やさしい日本語で、また時には通訳をしてもらったりしながら、熱心に説明を聞き、わからないことを質問して、保護者の皆さんはとても安心した様子でした。



説明会の様子

2024
(令和6)年度

主な行事予定



月	日	行 事	会 場
5	7	三島市国際交流協会総会・懇親会	みしまプラザホテル
	12	第31回国際交流フェア	さんしんみゆうくんホール
7	—	夏期語学講座（スペイン語、中国語、韓国語）	生涯学習センター研修室
8	—	フレンドシップ2024（パサディナへ派遣）	アメリカ・パサディナ市
9	—	日本語の教え方講座	中央町別館会議室
10	中旬	第61回姉妹都市親善 英語スピーチコンテスト	生涯学習センター
11	3	MIRAオータムフェア～世界が三島にやってきた！～	楽寿園
12	上旬	第7回友好都市親善 中国語スピーチコンテスト	生涯学習センター
1	下旬	新春交流パーティー	さんしんみゆうくんホール

今後の状況により中止・延期・内容変更となることがあります

James Molloy - MIRA Newsletter #38

JIMのみしまものがたり③⑧

いずこの2月も

「鬼は外、福は内」の声とともに、家の中から邪気を追い払う節分の豆まき。まいた豆を食べながら、1年間の無病息災や幸せを祈ります。春の始まりを感じる行事ですね。ところで、皆さんは英語の2月“February”に似たような意味があることをご存じでしたか？



“February”の語源は3月から始まり12月で終わる、10ヶ月しかなかった古代ローマ時代の暦にさかのぼります。紀元前8世紀頃のロムルス暦には冬の2か月間、日付がありませんでした。1月(January)と2月(February)は、紀元前45年に太陽暦を採用したユリウス・カエサルによって付け加えられたのだとか。

それではなぜ、この新たに加わった2月が、英語圏では“February”と呼ばれるのでしょうか？そして節分とのつながりは？実は“February”の語源であるラテン語の“februum”に“お清め”の意味があるのです。春の訪れにさきがけて、2月に人々の魂を浄化するためにローマ国中でお清めの儀式が行われました。のちのパレンティンデーの起源となったルペルカーリア祭は特に有名。2月13日から15日にかけて開催されていたこのお祭りで、街が清められ、人々は繁栄と健康を祈ったそうです。

さあ、2月(February)の語源がわかったところで、他の月のいわれについても知りたくないませんか？例えば“oct”が8を意味する（例：足が8本のタコ）にもかかわらず、10番目の月(October)と呼ばれるのは、なんとも不思議ですね。…

この続きはいずれまたご紹介することにしましょう。

Can you feel it? Spring is almost here.



2024(令和6)年度 ホストファミリー募集

姉妹・友好都市から三島を訪問する学生を受け入れてくださる三島市および近隣市町にお住いのファミリーを募集します。受入れ学生用の部屋と朝食・夕食の用意、朝晩の送迎が必要です(一部補助有り)。ご検討いただける場合には kokusai@city.mishima.shizuoka.jp までご連絡ください。募集を開始するタイミングで詳細をお送りいたします。



	対 象	滞在期間	募集家族数 (2名以上の受入れ大歓迎です)
麗水市 (中国)	友好都市麗水市からの中学生10名程度	7月上旬の5泊程度	10世帯程度
ニュープリマス市 (ニュージーランド)	姉妹都市ニュープリマス市からの高校生 (14～18歳) 20名程度	12月初旬の3泊程度	20世帯程度

※滞在の時期や期間は予定です。また、感染症の拡大などの理由で、受入れ事業自体が中止となることもあります。

フレンドシップ2024 参加者募集

“フレンドシップ2024”参加者を募集します。
姉妹都市のアメリカ合衆国パサディナ市でホームステイをし、現地の青少年との交流や、近隣の施設見学等を実施予定です。

対 象 三島市在住の中学2年生～大学院生

期 間 8月3日(土)～8日(木)

募集人数 10名

※詳細は、協会ホームページで
ご覧ください。



▲ホームページ

麗水市へ語学留学 (9月派遣・1年間)

三島市中国語研修生 募集(予定)

三島市の友好都市の麗水市では、麗水学院(大学)に語学留学する際の学費と住居(寮)費の一部または全部が免除される制度があります。自然豊かですぐれた文化資源を有する麗水市で、語学留学してみませんか。

※現在内容詳細について検討中です。ご興味のある方は国際交流室までお問い合わせください。

※諸般の事情により、内容の変更や募集中止となることもあります。

※お問い合わせ：三島市国際交流室：TEL.983-2645

一緒に国際交流の輪を広げませんか MIRA会員 大募集



年会費 3,000円(個人) | 1,500円(学生) | 5,000円(家族) | 5,000円(団体)

入会申込・問合せ・行事に参加したい・ホストファミリーをやりたいなど、なんでも…

三島市国際交流協会 TEL.055-976-1020